

(様式1)

横浜金沢ハイテクセンター・テクノコア

R&Dスタートアップ・ラボラトリー

産学共同研究ラボラトリー

研究開発等支援ラボラトリー

入居申込書

平成 年 月 日

公益財団法人横浜企業経営支援財団 理事長

申 込 者

所 在 地 〒 ー

名 称

代表者名

印

横浜金沢ハイテクセンター・テクノコアに入居したいので、関係書類を添えて申し込みます。

希 望 面 積 _____ m²

必要最低面積 _____ m²

※必要最低面積 審査会后、入居区画を調整させていただくことがあります。
その際、必ずしも希望面積に添えない場合もありますので、
参考のために事業活動に必要な最低限の面積をご記入ください。

(担当者・連絡先)

住 所 〒 ー

氏 名

電話番号 ()

FAX番号 ()

E-mail

(様式2-1)

<事業を既に開始している申請者>

申 込 者 概 要 書

名 称	設立年月 (事業開始年月日)
資本金 (元入金) 千円	従業員数 総 数 人 (うち研究開発委員 人)
事業内容	
主要株主 (法人場合) 株主名 比率	主要製品 製品名 比率
(1)	(1)
(2)	(2)
(3)	(3)
沿革	今後の戦略

(様式2-2)

<今後事業を開始する申請者>

申 込 者 概 要 書

名 称	事業開始予定年月
予定従業員数	
総 数 人 (うち研究開発委員 人)	
事業の内容	
これまでの沿革	

事業計画書について（作成要領）

書式	A 4 縦長で左上 1 か所綴じとしてください。
様式	それぞれごとに下記の必要項目を漏れなく簡潔に記載してください。 詳細については資料を別添してください。 記入は横書きでお願いします。その他は自由です。

- 1 新技術・新製品、新事業展開の背景と目的及び本施設を新たな事業拠点として必要とする理由
- 2 本施設で行う事業（研究開発）の具体的内容
- 3 本施設で行う事業（研究開発）の特徴
 - (1) 新製品・新技術開発の場合
 - ア 製品や技術の創造性、優秀性
特許権、実用新案権の取得、同ライセンス使用実績等、公的な助成実績等、学会や専門誌へ発表等、大学等研究機関との連携等、の具体的データを入れて技術の創造性、優秀性を箇条書きで記述
大学発ベンチャーに該当する場合はその旨と根拠を記してください。
 - イ 製品や技術の市場性
市場の規模と成長性等、市場での優位性等、製品のライフサイクル等の具体的データを入れ、技術や製品の市場性を箇条書きや図表で記述
 - ウ 社会的な貢献性
事業の及ぼす経済的効果や社会的な有用性を具体的に箇条書きで記述
 - (2) 新分野・新事業展開の場合（新製品、新技術開発以外）
 - ア 新たな事業の優秀性、革新性を具体的に箇条書きで記述
 - イ 新たな事業への展開により改善される経営目標を売上げや付加価値等の経営指標データを入れ、箇条書きで記述
 - ウ 地域社会や経済への貢献性を経済的効果や社会的な有用性を含め箇条書きで記述
- 4 事業体制
 - (1) 人員体制
研究開発の要員数、専門性（資格）、経営面での人材要員等を含め図表等で記述
(他に事業所がある場合は関連を明らかにして記述)
 - (2) 使用する主な設備、機材及び資材と発生する廃棄物等
事業に必要な機材及び用途、発生する廃棄物等及び対策を一覧表で記述
- 5 事業資金計画 事業資金規模と調達先等につき根拠を示しつつ具体的に記述
- 6 年度別事業スケジュール（事業着手から本格稼働までの間、概ね3年～5年期間で年次ごと）
- 7 事業実施上の課題と実現の見通し